

せん妄の診断・治療

監修：九州大学大学院医学研究院 精神病態医学分野

講師 川寄 弘詔

せん妄の診断・治療に関するご相談は

九州大学病院精神科・神経科
リエゾン・コンサルテーション部門

川寄まで（内線 5640 精神科外来）
（院内 PHS 2347）

せん妄とは？(せん妄の概念)

- 1) 一過性に出現し、可逆性の軽度の意識障害あるいは意識変容。急激な発症(数時間から数日間)
- 2) 精神機能の障害(多彩な精神症状)を伴う：
見当識障害、注意集中困難、認知機能の低下、計算力、
記銘力障害、精神運動興奮、錯乱、幻覚妄想(視覚性のもの)、
不眠(昼夜覚醒リズムの障害)、活動性低下。
- 3) 症状は浮動性(一日の中でいい時と悪いときがある)：
症状の可逆性、変動が見られる。不可逆性の症状を示す
認知症とは異なる。
- 4) 周囲からの刺激の少ない夕方から夜間にかけて、出現する
場合が多い。=>夜間せん妄
- 5) 発症率：一般の入院患者：10-15%
ハイリスク患者(高齢者、術後、熱傷、電解質異常等)：40-67%
- 6) 他のせん妄のタイプ：アルコール離脱せん妄、術後せん妄、
ICU、CCUせん妄。
- 7) 軽い意識障害、変容を見逃さないようにする。意識を深さ
だけでなく広がりでの2次元でとらえる。

せん妄の臨床像

●過活動型(hyperactive type) 興奮、幻覚、幻触、妄想、不眠 etc	興奮、過活動が主体。夜間徘徊。 転倒、点滴抜去等あり、時に抑制 が必要。
●活動低下型(hypoactive type) 無表情、無気力、傾眠 etc	低活動ではあるが、意識障害、 内的不穏は持続している。 うつ病や不眠症と誤診しやすい。
●混合型 過活動型と活動低下型の特徴 が混在	上記二つの特徴が混在するため、 せん妄→興奮と考えている治療 者は混乱しやすい。

せん妄の発症危険因子

- 1) 臨床的に多要因でおこり、原因特定が困難。
- 2) Lipowski のせん妄発症因子の分類 (下図)。
- 3) 危険因子として、高齢者 (最も重要)、男性、術後、脳血管障害、認知機能障害、身体的基礎疾患、薬物治療 (中枢神経系)、等の存在がある。



「臨床医のためのせん妄の診断・予防・治療」より

せん妄の診断

・直接因子の鑑別：

- 1) 精神医学的問診：見当識、記憶力、計算能力、空間認知、抽象思考能力、その他のチェック。
- 2) 飲酒歴、服薬内容、基礎疾患の状態の検討。
- 3) 脳の画像検査、脳波検査の施行。血液生化学検査。

・症状についてのチェック：

症状の動揺性、浮動性、急激な発症および変動性のチェック。
24時間の行動でチェック。

・危険因子についての評価：

高齢者については要注意。

・鑑別診断：

- 1) 認知症：可逆性の有無で判断。
- 2) うつ病：低活動性せん妄の時に注意。
- 3) 不眠症：昼夜の覚醒リズム障害を不眠のみととらえがち。
- 4) 薬剤惹起性の精神医学的問題 (ステロイド、化学療法剤、インターフェロン等)
- 5) 拘禁反応 (ICU、CCU、無菌室) などの心因性の反応。

せん妄の治療

・誘発因子の改善:

- 1) 家族、医療関係者からの話し掛け、昼夜の区別を付けるなどの刺激を与える。
- 2) 誘発因子の除去。

・薬物療法(下記の薬剤量は症状によって適宜増減):

1) 夜間の睡眠確保と興奮抑制:

一経口摂取が可能な場合:

- ① セロクエル錠*: 25-100mg
- ② リスパダール錠: 0.5-2mg (内注射液も可)

*糖尿病患者には禁忌

**興奮が伴わない場合は、レスリン・デシレル(25-100mg)、テトラミド(10-30mg)

一経口摂取が不可能な場合:

- ① セレネース注: 1-3A/500ml/4-6hrs.DIV (1A: 5mg)
- ② セレネース注: 1-3A/100ml saline/15-30min.DIV

*上記でも不穩の場合 セレネース注: 1/2 - 2A, iv or im

一上記で症状改善がみられない場合はコンサルト。

2) 注意点:

循環器(心伝導系、不整脈)、呼吸器系の評価と管理に注意。

悪性症候群(CKの測定)、錐体外路症状に注意

(アキネトン1/2-1A,im)

*アキネトンの事前投与および静注は、せん妄悪化のおそれがあるため注意。

3) BZ系の睡眠薬や抗不安薬は、せん妄の増悪や脱抑制をきたすことがあるので、少量から開始(例:マイスリー5mgなど)するなど、最小限度の使用にとどめる。

やむをえない場合には、抗精神病薬との併用を心がける。

4) 転倒、点滴チューブ抜去に注意。場合によっては抑制帯使用も検討。

参考文献) 「せん妄の治療指針」 日本総合病院精神医学会治療指針1 (星和書店)

「せん妄の診断・予防・治療」 監修: 産業医科大学 精神医学教室 教授 中村 純
今日の治療指針2005年版 (医学書院)